

3. 富士山の森を探検しよう

富士山御胎内コース (約3.5km)

学習テーマ



印野周辺は宝永4年(1707)の富士山大噴火により、数多くの溶岩樹型や溶岩隧道などの特殊な地形が生み出されました。現在はその溶岩の上に、多くの動植物が生息する豊かな森が形成されています。富士山樹空の森と御胎内清宏園周辺では、富士山の雄大な景観や自然に親しむことができます。これらの場所を巡りながら、富士山の自然について調べてみましょう。



START

JR御殿場駅より
バス停 富士山樹空の森

0分

1 ビジターセンター
立体スクリーンやCG映像などの最先端システムを取り入れた、富士山に関する体験型学習施設です。富士山の成り立ちや活火山のしくみ、気象観測の歴史などを、楽しみながら学ぶことができます。

2 溶岩樹型
敷地内に見つかった2カ所の溶岩樹型を観察できます。富士山頂で有人気象観測を行っていた時に使用されていた雪上車(平成16年まで運用)も展示されています。

3 御胎内清宏園入口
富士山の噴火で埋まった溶岩地帯の上に来た森です。コナラやミズナラ、カエデの仲間などの落葉広葉樹が多く、樹齢100年以上の木もたくさんあります。

4 胎内神社・溶岩隧道
安産の守り神として親しまれている胎内神社の横に、国指定天然記念物の溶岩隧道(全長約68m)があります。富士山の噴火によって生じた溶岩樹型と溶岩隧道が組み合わさったもので、人間の体内に似ていることから「御胎内」と呼ばれています。

5 野鳥の森・不老ヶ池
園内は御殿場市指定の「野鳥の森」でもあり、多くの野鳥が生息しています。運がよければ、御殿場市の鳥「クロツグミ」や県の鳥「サンコウチョウ」などを見ることができます。また、不老ヶ池は雨水と湧水からできた自然の池であり、貴重種であるモリアオガエルの生息地です。

御胎内清宏園 有料・年中無休

3 御胎内清宏園入口
富士山の噴火で埋まった溶岩地帯の上に来た森です。コナラやミズナラ、カエデの仲間などの落葉広葉樹が多く、樹齢100年以上の木もたくさんあります。

4 胎内神社・溶岩隧道
安産の守り神として親しまれている胎内神社の横に、国指定天然記念物の溶岩隧道(全長約68m)があります。富士山の噴火によって生じた溶岩樹型と溶岩隧道が組み合わさったもので、人間の体内に似ていることから「御胎内」と呼ばれています。

5 野鳥の森・不老ヶ池
園内は御殿場市指定の「野鳥の森」でもあり、多くの野鳥が生息しています。運がよければ、御殿場市の鳥「クロツグミ」や県の鳥「サンコウチョウ」などを見ることができます。また、不老ヶ池は雨水と湧水からできた自然の池であり、貴重種であるモリアオガエルの生息地です。

1 ビジターセンター
立体スクリーンやCG映像などの最先端システムを取り入れた、富士山に関する体験型学習施設です。富士山の成り立ちや活火山のしくみ、気象観測の歴史などを、楽しみながら学ぶことができます。

2 溶岩樹型
敷地内に見つかった2カ所の溶岩樹型を観察できます。富士山頂で有人気象観測を行っていた時に使用されていた雪上車(平成16年まで運用)も展示されています。

3 御胎内清宏園入口
富士山の噴火で埋まった溶岩地帯の上に来た森です。コナラやミズナラ、カエデの仲間などの落葉広葉樹が多く、樹齢100年以上の木もたくさんあります。

4 胎内神社・溶岩隧道
安産の守り神として親しまれている胎内神社の横に、国指定天然記念物の溶岩隧道(全長約68m)があります。富士山の噴火によって生じた溶岩樹型と溶岩隧道が組み合わさったもので、人間の体内に似ていることから「御胎内」と呼ばれています。

5 野鳥の森・不老ヶ池
園内は御殿場市指定の「野鳥の森」でもあり、多くの野鳥が生息しています。運がよければ、御殿場市の鳥「クロツグミ」や県の鳥「サンコウチョウ」などを見ることができます。また、不老ヶ池は雨水と湧水からできた自然の池であり、貴重種であるモリアオガエルの生息地です。



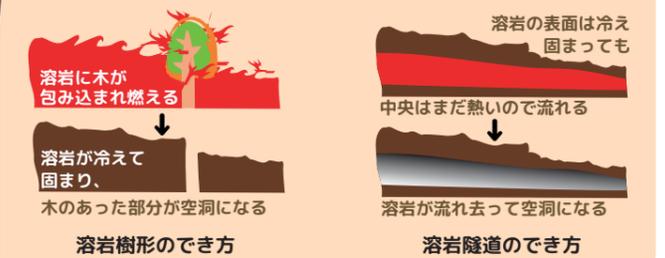
GOAL

バス停 富士山樹空の森

環境学習プログラム

溶岩の地形を観察しよう!

「溶岩樹型」とは、溶岩に包まれた樹木が長い年月をかけて風化され、溶岩だけが取り残されたものです。一方、流れ出した溶岩は表面だけが冷えて固まっても、内部はまだどろどろの状態、そのまま流れ去ってしまいます。このようにしてできるトンネルを「溶岩隧道」といいます。富士山周辺には、このような溶岩地形がたくさんあるので、観察してみましょう。



植物の垂直分布とは?

富士山は、丘陵帯から高山帯までの見事な植物分布が見られます。標高の違いにより、植物の分布が変化することを「垂直分布」と呼んでいます。

標高約700mにある御胎内清宏園では、ミズナラやコナラなどの落葉広葉樹の森が広がっています。落葉広葉樹は寒い気候に適応した樹木であり、秋になると紅葉し、冬は葉がなくなります。

また、春には色鮮やかな若葉が出てきます。このように、落葉広葉樹の森は1年を通じてその変化を楽しむことができます。少し標高の高い場所に足を運んでみましょう。



バードウォッチングをしよう!

富士山周辺の森は、多くの野鳥が生息しているため、バードウォッチングには最適な場所です。野鳥はその場所の環境のほか、季節や標高、時間帯などによっても見られる種類が変わります。何種類の野鳥が見られるか、双眼鏡で観察してみましょう。



クロツグミ
4~5月にかけて南方から富士山麓に渡来する夏鳥でとても美しい声で鳴く。